

第41回日本腎臓学会西部学術大会
男女共同参画委員会特別企画
「腎臓病学の魅力を語る〜キャリアプランとともに〜」



栄養学分野から見た腎臓学の魅力

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
分子栄養学分野 宮本 賢一

自己紹介

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
分子栄養学

研究歴

1985-1987: 病院栄養指導

1987-1988: 栄養素の消化吸収

1989-1991: 消化管ホルモン遺伝子発現調節

1991-現在: 腎臓ミネラル代謝

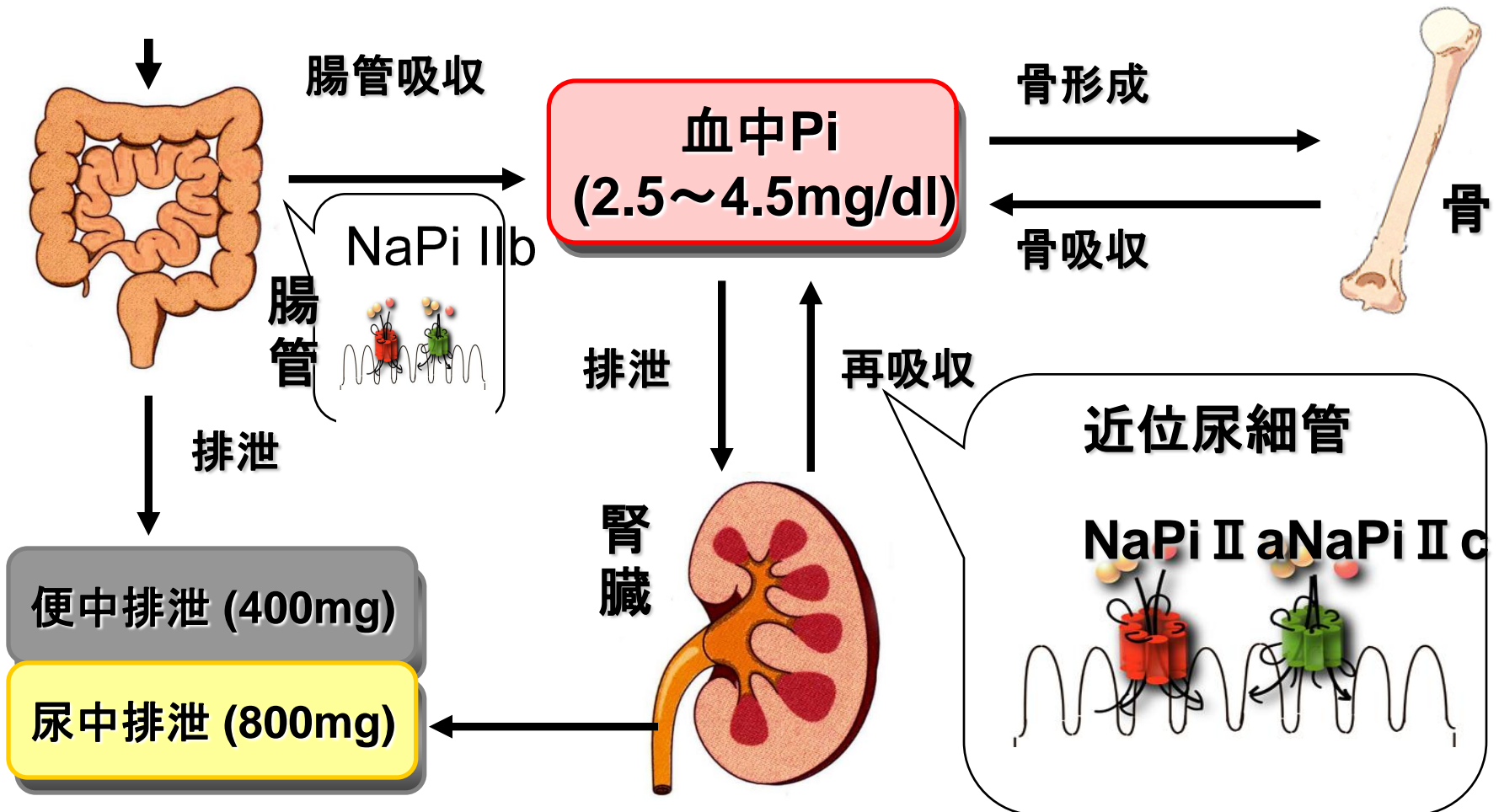
リン再吸収異常

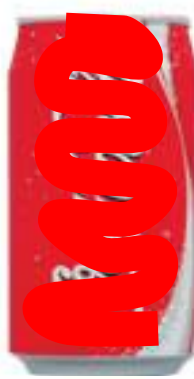
	XLH	HHRH	ADHR	disease	TIO	Dent's FS I		
Calcium metabolism								
Serum Ca	N/LN	N/HN	N/LN	N	N/LN	N/LN	N/HN	N/HN
Urine Ca	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑
GI Ca absorption	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑
Serum PTH	N	N/LN	N	N/LN	N	N	N/LN	N
Phosphate metabolism								
Serum P	↓	↓	↓	N/↓	↓	↓	↓	↑
T _m P/GFR	↓	↓	↓	N/↓	↓	↓	↓	↑
GI P absorption	↓		↓	↓	↓	↓		N
Alkaline phosphate	N/↑	N/↑	N/↑	N/↑	N/↑	N/↑	N/↑	N
Vitamin D metabolism								
Serum 25(OH)D	N	N	N	N	N	N	N	N
Serum 1,25(OH) ₂ D	(↓)	↑	(↓)	(↓)	↓	(↓)	↑	↑

Biochemical Abnormalities in Primary Disorders of Phosphorus Homeostasis^a

血中リン濃度の調節機構

食餌中Pi (1200 mg)





・魚類、肉類、チーズ、ごま、穀類、そばなどに多く含まれる。

・リンは様々な食品中に添加物として使われている。

(pH調節、保存料、テクスチャー etc.)

例) スナック菓子、インスタントラーメン、清涼飲料水、お弁当(コンビニエンスストア) etc.

現代の食生活はリン過剰摂取の傾向がある。

女性研究者育成

KURAMOTO CAMPUS



徳島大学（蔵本地区）
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
（医歯薬栄養統合大学院）栄養学教育部・研究部

栄養学科（定員50名）

- 昭和18年 徳島県立徳島医学専門学校を設立
- 昭和24年 徳島大学医学部を設置
- 昭和39年 医学部に栄養学科を設置（日本で唯一）
- 昭和44年 大学院栄養学研究科（修士課程）を設置
- 昭和46年 大学院栄養学研究科（博士課程）を設置
- 平成16年 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部の設置
（医学、歯学、薬学、栄養学の研究科の統合）

栄養学研究科棟

平成15年3月改修完了



女性医師による栄養学部の創立

女性が外で働くことすら珍しい時代に、女性医学者として栄養学の研究に没頭し、戦後は栄養学部がある大学の創立に情熱を傾けた。
東京女子医専から東京大学医学部島藺内科入局でビタミン B1の研究を行う。



日本の栄養学の母／香川綾 (1899年 -1997年) :
女子栄養大学の創設者であり、日本の現代栄養学の
礎を築いた。

胚芽米の研究

東大島菌内科での研究テーマは、「ご飯の炊き方」という意外な内容。この研究から、胚芽米にはビタミン B1が豊富に含まれ、白米に精米すると、ビタミン B1はほとんど失われる事実。胚芽米を病院給食治療に取り入れると、脚気患者が薬も使わずに回復した。

1949年「本邦食品のビタミンB1と脚気の研究」によって東京大学より医学博士の学位を受ける。

同年香川栄養学園設立。

1950年、女子栄養短大創立。

1961年、女子栄養大学創設し、学長に就任。

1965年、同大学に栄養学部を創設し、管理栄養士資格の創設に貢献。

1969年、大学院栄養学研究科修士課程を設置。

家庭

4人の子供を育てる。子供たちを教室に座らせて授業を行う。母親として、どんなに忙しくても子供たちと過ごす時間を作る。

日本で最初の栄養学研究科(1969年)



1921年

内務省栄養研究所

日本人の
栄養所要量



徳島大学医学部栄養学科(1964年)

病棟

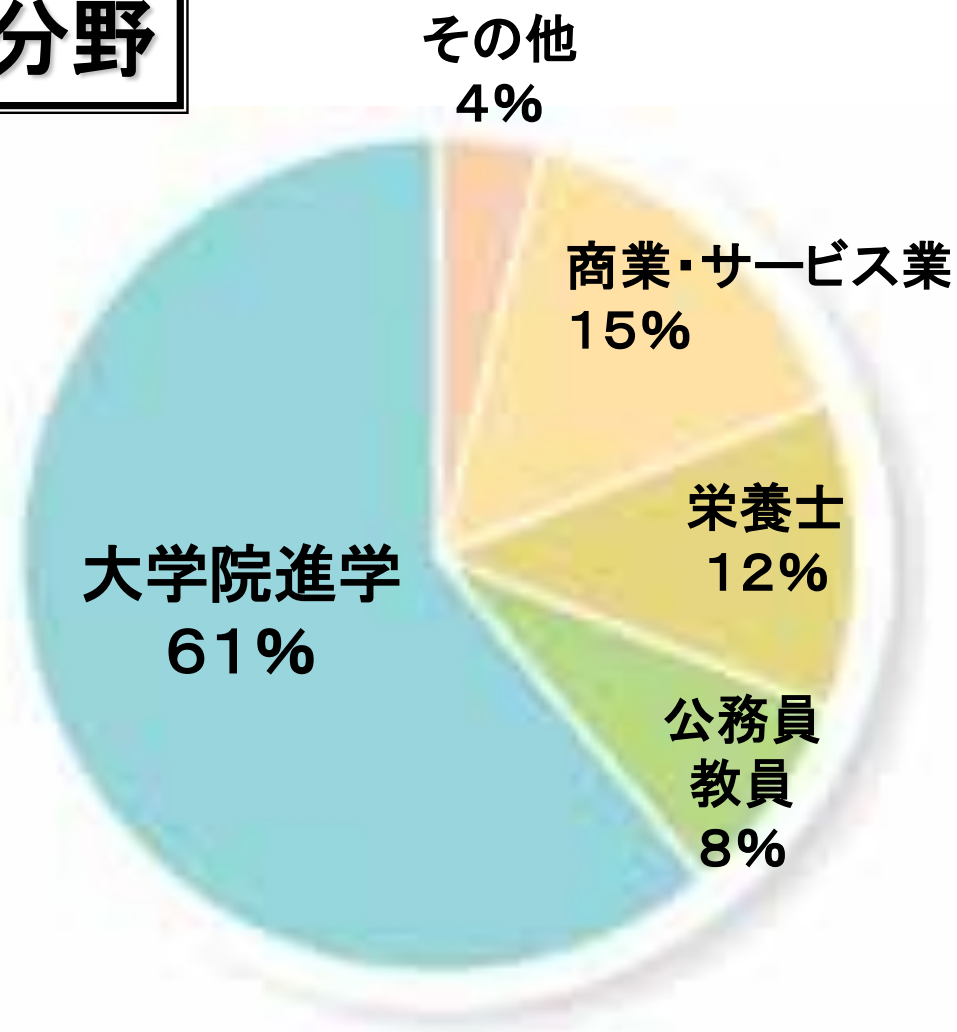
栄養学科

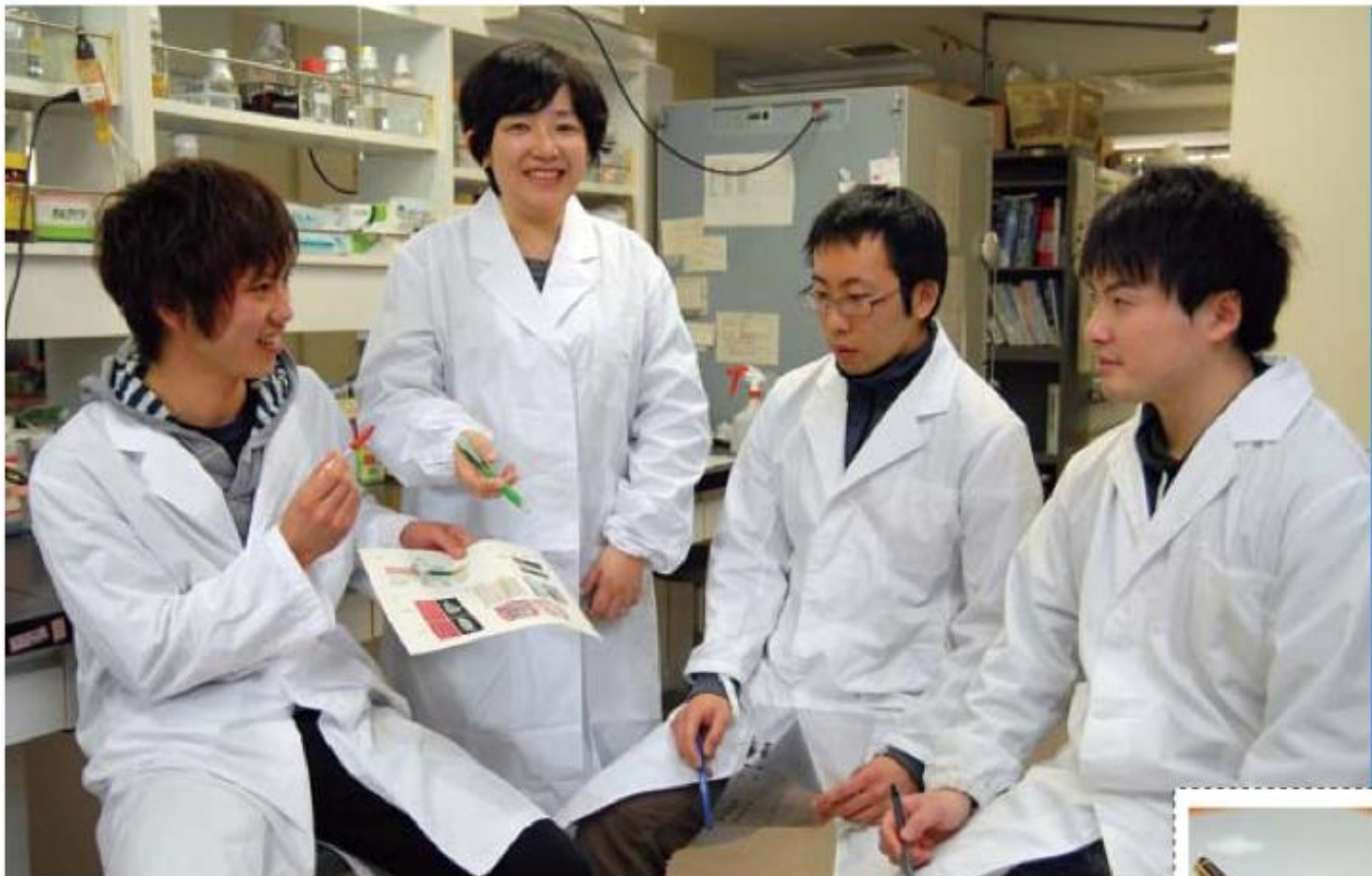
徳島大学

NST (Nutrition Support Team)

4年次卒業後の進路 及び活動分野

61%が大学院に
進学する。





辰巳 佐和子

たつみ さわこ

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・分子栄養学分野 助教
博士(栄養学)

マイアミ大学留学



My Favorite



相棒のパソコンと父から
プレゼントされた万年筆。

女性研究者(個人的な見解)

- 根拠の無い自信を持っていること！



女性研究者に対する生き方の理解(自然体の人)

○女性には男性とちがうサイクルがあるのだから、あせって目標を決めるより自分のサイクルをいきながら長期戦で構えたほうがいいと思いますよ。もともと私は大きな希望とか野心というものをもったことのない人間で、自分のサイクルにあわせて少しずつ駒をすすめてきた感じですね。(緒方貞子)

ご清聴ありがとうございました

